

[047_02/03] 経済学研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/4475407>

出版情報：経済学研究. 47 (2/3), 1982-04-10. 九州大学経済学会
バージョン：
権利関係：



序

木下悦二教授には、昭和55年12月10日、めでたく還暦を迎えられた。九州大学経済学会は心からの祝意を表して、ここに記念論文集を刊行することになった。

木下先生は、昭和21年大阪商科大学を卒業され、ただちに大阪市経済研究所に入所され経済学研究者の道に進まれた。その後昭和28年4月に大阪市立大学経済学研究所に移られ、昭和38年6月からは九州大学経済学部の世界経済論講座の担当教授として今日に至られている。

先生の研究領域は、国際価値論を軸とした国際経済理論と、戦後期の変動めまぐるしい世界経済の動きを分析対象とした現代世界経済論、さらには明治期から現在に及ぶ日本の対外経済交流を分析した日本貿易論など多岐にわたっている。いずれの分野においても、先生は、たえず学界に新風を吹き込まれ、新しい研究対象とその分析視角とを開拓され呈示されてきた。とりわけ、在来とも経済政策の対象とされ、かならずしも独自の理論的領域を形成するものとはみなされなかった国際経済論を、マルクス経済学の立場から体系的、包括的に理論構築された業績は高く評価されている。

先生は、本学にあっては、経済学部長、評議員その他の要職を歴任され、当学部のみならず九州大学全体の発展に寄与されてきた。また学会の活動では現に国際経済学会の常任理事として、またEC学会理事や九州経済学会理事として、さらには第12期の日本学術会議の会員として、日頃、学問研究の進展、後進の育成に尽力されているところである。

華甲を迎えられてなお青年のごとく学究心を謳歌されている先生にたいし、経済学部の同僚ならびに先生の御指導を仰ぎ活躍している3名の他大学における学究の参加をえて、先生の還暦記念論文集を編むことができたことは慶ばしく意義深いものである。本学会は、先生のいっそうの御健康と御発展を祈念して、これを木下悦二先生に捧げる次第である。

九州大学経済学会

服 部 俊 治